

## 〔長久手町業務評価票：平成 18 年度業務〕

課係NO・業務NO	- .	総合計画	3 節 1 項	保健センターの建設
担当課・係名	健康 課 保健予防 係【問合せ・質問等の先（内線番号） 5 8 1 番】			

<b>業務の名称</b>	保健センター管理業務					
(1)根拠法令・条例	保健センター条例					
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の 3 . 8 % (係の総業務量を 1 0 0 %とする) 職員延人数： 5 4 人・日 (臨時雇用者延人数： 0 人・日)					
(3)事業費 (人件費分を除く)	8 , 5 4 5 千円 (平成18年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する))					
(4)補助率 (補助金がある場合のみ記載)	0 . % (平成18年度実績)					
(5)業務期間	開始した年度	1 2 年度	終了 (予定) 年度	年度		
(6)業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)						
業務目的 (達成目標)	住民の健康の保持、増進を目的とした保健事業を実施する拠点とし、保健センターを位置付け、管理する。					
業務が対象とする住民 (地域、層)	町民					
業務の具体的な実施内容・方法 (平成18年度実績)	保健センター施設内の維持管理、保守点検業務等を実施しており、清掃、浄化槽保守点検、電気保安業務、受水槽清掃、警備管理、害虫駆除、消防設備保守点検、空調設備保守、自動扉保守点検、床暖房保守点検業務等については、業者委託にて実施。					
業務の実施結果 (平成18年度実績)	保健センターを拠点とし、老人保健法、母子保健法、予防接種法、健康増進法に基づき、各種保健事業を実施。					
	【業務結果の説明指標】					
		結果の説明指標	17年度	18年度 実績	19年度 目標	将来目標
1	保健センター年間利用者数		13,004	13,575	14,000	15,000
2						
3						
4						
5						
業務の成果 (業務目的の達成状況) (平成18年度実績)	保健センターは平成12年度に完成し、各種健康診査、相談、保健指導等の保健事業を展開している。保健センター管理については、保健事業が円滑に実施できることを目標に、業務を行っている。					
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】					
		成果の説明指標	17年度 実績	18年度 実績	19年度 目標	将来目標
1						
2						
3						
4						
5						

(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
保健センター完成から6年が経過しており、修繕箇所が増えている。

(8)改善実績（過去3年間の実績）
保健事業を円滑に実施するため、平成16年度は床暖房減圧弁、平成17年度温水器部品取替、エレベーター部品取替え等、平成18年度は浄化槽蓋修繕を行なった。

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3 点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3 点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3 点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3 点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	4 点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3 点
		平均 3.2 点

(10)総合評価（課の見解）	
今後の方向 (該当番号に○印)	1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） 4. 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
評価理由	修繕箇所はあるが、今後も保健事業の拠点として位置付けていく。

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
修繕箇所がある場合は、迅速に対応予定。